

2021年10月1日  
株式会社アマダ

## オールラウンドファイバーレーザーマシン「BREVIS-1212AJ」を発売開始 待望のコンパクトサイズの3kWファイバーレーザーマシン



BREVIS-1212AJ

株式会社アマダ(神奈川県伊勢原市、代表取締役社長:磯部 任)は、板金切断用オールラウンドファイバーレーザーマシン「BREVIS(ブレビス)-1212AJ」の販売を10月より本格的に開始します。

アマダは、これまでファイバーレーザーマシンのラインナップを「REGIUS-AJ」「VENTIS-AJ」「ENSIS-AJ」の3機種にて展開しており、薄板から厚板、さらには大板材までの高速・高品位切断加工を実現してきました。今回ラインナップを拡充し、コンパクトでありながら3kWのファイバーレーザー発振器を搭載し、薄板から中厚板まで幅広い切断加工を実現する「BREVIS-AJ」を開発しました。NC装置には、スマートフォン感覚で簡単に操作できる「AMNC 3i」を搭載。ファイバーレーザーマシンを初めて導入するお客さまでも簡単に操作が可能です。

板金加工業界では、短納期化や多品種少量生産、人手不足を背景に、多くのお客さまが省エネルギーで生産性の高いファイバーレーザーマシンを積極的に導入されています。しかし、都市部においては、スペースの理由から従来のファイバーレーザーマシンの導入が難しく、コンパクトマシンへのご要望を多くいただいていた。「BREVIS-1212AJ」は、1工場に1台、道具のように使えるファイバーレーザーマシンとしてお客さまからのニーズに新たにお応えすることができます。

アマダは、高速・高品位切断かつ省エネルギー、高生産性を実現するコンパクトな3kWのファイバーレーザーマシンの販売を開始することで、お客さまの課題とニーズを解決し、モノづくりに貢献してまいります。

## ■ 特長

### オールラウンドファイバーレーザーマシン「BREVIS-1212AJ」

#### 1. 汎用性の高いコンパクトサイズ

マシンサイズは、2.4m x 3.1m。コンパクトでありながら、3kW のファイバーレーザー発振器を搭載し、オールラウンドな加工を実現します。加工範囲は汎用性の高い 4'X4' (1,219mm x 1,219mm) サイズとしました。

#### 2. 使い手を選ばないユーザーフレンドリー的设计

材質や板厚に応じたレンズ交換が不要のため、1種類のレンズで切断加工が可能です。マシンカバーは大きく開閉し、正面・側面からの加工パレットへのアクセスに加え、引き出してアクセスすることもでき、低いパスラインで楽に素材を搬入出できます。

## ■ マシン仕様

機種名	BREVIS-1212AJ	
発振方法	LD 励起ファイバーレーザー	
定格出力	W	3000
NC 装置	AMNC 3i	
制御方式	X・Y・Z 軸(同時 3 軸制御) + B 軸 + CF 軸	
最大加工寸法 XxY	mm	1270 x 1270
軸移動量 XxYxZ	mm	1270 x 1270 x 200
早送り速度 X/Y/Z	m/min	40 / 40 / 60
総受電容量(チラー・集塵機含む)	kVA	25
マシン寸法 (LxWxH)	mm	3088 x 2389 x 1900
マシン質量(本体のみ)	kg	4800

## ■ 販売

販売開始時期	2021 年 10 月
月間販売目標	10~15 台/月

以上

※本リリースに記載されている情報は、発売日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がありますので、予めご了承ください。